

「遊函嶺」碑(箱根町・山のホテル庭園内)

この碑は、昭和54年5月呉石先生生誕100年を記念して、先生が詠まれた詩編のうちの一つ「遊函嶺」の五言絶句を詩碑に刻み、「山のホテル」の庭園内に建立されたものです。



西脇呉石先生は箱根の山水を非常に愛していました。

特に戦後20数年、昭和45年秋に天寿を全うするまで一年も欠かすことなく、毎年夏には箱根芦ノ湖畔の「山のホテル」に逗留して、湖光を一望の中に俯瞰する当時の別館「金時の間」に起居し、静かに書作を楽しみ、漢詩の詩想に耽り、興に乗じては南画の画筆を揮うなど悠々自適の生活を過ごしていました。

函嶺を詠んだ詩編は約50首余りにも上っています。

「山のホテル」は、岩崎小彌太男爵別邸のあった地にあり、芦ノ湖を一望するリゾートホテルです。

その庭園は、晴れた日には富士山を望むことが出来、5月になると満開のツツジ、シャクナゲで被われ、夏と秋の2回バラが開花するなど、春夏秋冬それぞれに美しい風景に抱かれています。

場所 神奈川県足柄下郡箱根町「山のホテル」庭園内

交通 ■ 「小田原駅」「箱根湯本駅」より箱根登山バス「元箱根港」下車徒歩約15分
(送迎バスあり)

■ 「新宿駅西口」より小田急箱根高速バスで「箱根小田急山のホテル」下車